



そよかぜきた小

令和7年2月20日
2月号
日置市立伊集院北小学校

できないことは何もない！

～ユニバーサルデザインをさらに広げて できる喜びを感じよう！～

校長 田平 奈保美

「特別支援教育」とは、障がいのある子どもたちが将来自らの力で生活できるように、サポートを受けながらも、幸せな生活ができるように、一人一人の持っている力を高め、生活や学習上で難しいことを改善または克服するために、適切な教育を行うことをいいます。

学校では、教師が一斉指導の中でも、子どもたちに個別に時間をかけたり、サポートしたりして学習内容を丁寧に教えています。できないことは何もない！を合言葉に自己肯定感を高める言葉かけに意識し子どもたちに向き合うようにしています。そうすることで、子どもたちがねらいとは違う新たな力を発揮できることもたくさんあり、努力することの大切さが分かります。

2021年に行われた東京オリンピック・パラリンピック。パラリンピックは、障がいのあるトップアスリートが出場できるスポーツの祭典です。日頃から強い意志と覚悟をもって戦うパラアスリートの姿から、たくさんの勇気と感動を感じます。素晴らしいパラリンピックは、誰もが個性と能力を発揮し活躍できる機会が与えられている場であり、みんなで生活するために大切な事を考える大会だと思えます。

日本が誇る車いすテニスの国枝慎吾選手は世界ランキング1位を8回も記録するなど、世界最強の車いすテニスプレーヤーでした。日本中の方々に惜しまれながら引退したニュースは記憶に新しいことです。

さて、「ユニバーサルデザイン」とは、「すべての人々のためのデザイン」という意味があります。年齢や性別、障がいの有無や体格、国籍に関わりなく、出来るだけ多くの人を使いやすく分かりやすくデザインすることをいいます。私たちは、一人一人顔が違いうように、同じ人は二人といません。また、誰もが自分の人生を幸せに生きる権利をもっています。ところが、障がいのある人にとっては、同じ環境で生活することが難しく、苦勞が多過ぎることがあり、解消のために様々な努力を世界中の人が考え実行しています。

いよいよ新しい学年・学校が始まる4月はもうそこまで来ています。ユニバーサルデザインの考え方をもっと広げて、自己肯定感を高めながらいろいろなことにもっともっと挑戦できる子どもたちが増えていくことを願っています。

3月の目標
希望の登校
満足の下校

●生活目標 【きれいな学校にしよう】
●保健目標 【1年間の健康生活の反省をしよう】
【耳を大切にしよう】



学力向上を目指して



本校の課題の一つに「学力向上」があります。子どもたちに学力をつけるために、様々な取組を行っています。

◇鹿児島学力・学習状況調査

1月15・16日の2日間にわたって、5年生を対象に「鹿児島学力・学習状況調査」が実施されました。国語・社会・算数・理科の4教科と児童質問紙の調査です。

この調査は、昨年度までは「鹿児島学習定着度調査」と呼ばれていましたが、名称の変更にあわせて、情報活用能力も含めた学力の育成のために、全ての教科がタブレットで実施されたことが、最も大きな変更点でした。全ての教科がタブレットで行われるのは、全国で唯一の取り組みだということです。児童はタブレットを操作しながら、問題に懸命に取り組んでいました。3月上旬に結果が公表される予定です。

◇家庭学習強調週間

2月7日から13日までを「家庭学習強調週間」に設定していました。子どもたちの学力向上には家庭での実践も不可欠です。家庭学習の時間確保と内容の充実をお願いします。「家庭学習の手引き」を参考にして、子ども自身が計画的に取り組んでいけるようお願いいたします。時間の使い方のバランスが悪いときには、話し合って改善するようにしてみてください。学童や学校で「宿題」となっていたものを、すませているかもしれません。そのときは、学習が丁寧にできているか確認してみてください。また、文房具は揃っているか、プリント類の整理はできているかなどの点検も毎回お願いします。この週間を機会に、今の学年の締めくくりをしっかりとし、学習に意欲的に取り組めるように、励ましをよろしくお願いします。

2月のおすすめの本
テーマ「次につなげ！」

「生きる」
「はじまりの日」forever young
「2ほんの木」
「あたらしい ぼく」
「あなたがおとなになったら」



子育て講演会・新入生入学説明会

2月4日(火)に、子育て講演会と新入生入学説明会を行いました。

保護者のみなさんには、まず子育て講演会に参加していただきました。子ども支援センター所長の田淵隆之先生に来ていただき、「子どもを育てる～聴くこと ほめること～」と題して、講演をしていただきました。子どもの自己肯定感を高めるためにほめて育てるという内容で、とても良いお話を聞くことができました。



その後、新入生入学説明会を行いました。入学前の準備など学校からいろいろと説明したほか、学級役員の選出や新入生のための物品の販売などを行いました。準備をしっかりと、入学を迎えてほしいと思うことです。

令和7年度の入学予定者は、現時点で12名です。いろいろな保育園や幼稚園から集まってくる小さな仲間たちは「入学」して、また一つ社会が広がります。保護者の皆さんの知らないところで自分の判断や行動が試されます。不安等もあるかと思います。在校生は、新しく入ってくる1年生を優しく迎えることができるようにしてほしいです。今から新入生が入ってくるのが楽しみです。

今年も銀世界を味わいました

2月4日から6日にかけて、今冬一番の強い寒気の影響で、学校周辺は一面の銀世界となりました(ちなみに、昨年も1月24日に校庭に雪が積もった記録が残っています)。特に4日は終日、粒が大きい雪が降り続けたため、交通障害により登校できない児童が複数名いたり、5校時で授業を打ち切り、全児童を下校させる措置を執ったりしました。



登校できた子どもたちは、絶好の雪遊び日和となり大はしゃぎでした。雪だるま・かまくら作りに熱中する児童(先生も夢中になっていましたが)、雪合戦で校庭を走り回る児童(子どもたちから標的とされていた先生もいました)など、南国鹿児島ではなかなか味わうことができない、雪に囲まれた時間を思う存分味わっていました。



みんな頑張ってます

◇第72回南九州美術展

【書道の部】

特別賞「市社会福祉協議会会長賞」

特選	田島 優朱(4年生)
入選	八木 奏多(1年生)
	久富木 歌(3年生)
	久富木 奏(6年生)

稲留 七美(4年生)

石神 杏羽(2年生)
久木原ここ愛(5年生)
東 康誠(6年生)



【美術の部】

特別賞「KTS鹿児島テレビ賞」

特選	岩川 想(5年生)
入選	黒木 遼翔(6年生)

久富木 奏(6年生)

山野 陽翔(5年生)

特認校となります

本校は、令和7年度より「特認校(小規模校入学特別許可制度)」に指定されることになりました。特認校制度とは、豊富な自然環境に恵まれた本校の特性を生かし、心身の健康増進・体力つくりとともに、自然に触れる中で学ぶ楽しさと豊かな人間性を培いたいと希望する保護者・児童の皆さんに、特別に入学(転学)を認める制度です。対象は、鶴丸小学校、湯田小学校、伊集院小学校、妙円寺小学校、伊作小学校、日吉学園(前期課程)に在学しているか、入学指定を受けている児童に限ります。

今後、本制度を利用して北小で学びたいと希望する児童が1人でも増えるよう、魅力ある学校づくりに努めていきます。

3月の行事予定

8日(土) 土曜授業 集団下校

12日(水) 巡回文庫

18日(火) 卒業式予定

24日(月) 卒業式

25日(火) 修了式 辞・離任式《11時15分》



下校予定時刻12時

※B校時:4, 5, 7, 11, 12, 14, 18, 19日

※C校時:3, 6, 8, 10, 13, 17, 21日

26日(水) PTA送別会

26日(水)~4月6日(日) 年度末・年度始休業(春休み)

※予定は変更になる場合があります。週報等でご確認ください